

第4回 国立天文台サイエンスロードマップ策定委員会議事抄録

日時：2025年3月10日（月） 13時14分～14時40分

場所：国立天文台大会議室、Zoom

出席者：

（台外）河野孝太郎委員、住貴宏委員（Zoom）、高田昌広委員（Zoom）、高橋慶太郎委員（Zoom）、濤崎智佳委員（Zoom）、戸谷友則委員（Zoom）、堀田英之委員（Zoom）、山田亨委員（Zoom）

（台内）井口聖委員（Zoom）、生駒大洋委員、齋藤正雄委員、藤井友香委員（副委員長）、本原顕太郎委員（委員長）、吉田道利委員

欠席者：

（台外）秋山正幸委員、石原安野委員、渡邊誠一郎委員

（台内）都丸隆行委員、竝木則行委員

陪席：

（台内）土居守台長、藤田常事務部長、堀久仁子特任専門員、金子修研究推進課長、大内香織研究支援係長

1. 確認

1.1 出席者確認

出席者の確認を行った。

1.2 第3回議事抄録の確認

2月10日に開催された第3回国立天文台サイエンスロードマップ策定委員会の議事抄録（案）について説明があり、承認された。

2. 報告と議論

2.1 機微な技術情報の取扱いについての注意

サイエンスロードマップヒアリングにおける機微な技術情報の取扱いについて説明があった。

議論の結果、ヒアリングでの技術情報の提供は制限せず、事前に参加者を確認し必要に応じて該非判定を行ったうえでヒアリングを実施することとした。

2.2 今後のヒアリングの進め方

SRM策定の今後の進め方について説明があり、ヒアリングの実施方針、担当の割り当て、RIXへの記入を匿名とすることについて承認された。

また、LOIの大幅な修正を認めた提案に対してはヒアリングでのプレゼンテーションを依頼することとした。

2.3 SRM報告書案について

第2回委員会で議論したSRM報告書案について改めて説明があった。

続いて、各提案がカバーするサイエンス分野とそこでの位置付けを纏めるための「サイエンス分野リスト」、及び「2028-2033 年度までの戦略」の項目に関し意見交換を行い、以下の通りとすることとした。

- ・「サイエンス分野リスト」は、国立天文台執行部が作成した案を基に、今後のヒアリングなどを通じ修正を入れながら決定する。
- ・「2028 - 2033 年度までの戦略」は、プロジェクトによる分類でまとめることを基本とし、次回の委員会で改めて議論のうえ決定する。

(主な意見交換)

「サイエンス分野リスト」について

- ー天文台執行部が作成した分野リストと、学術会議が纏めた「天文学と宇宙物理学の長期計画」を参考とする分野リストの2通りの案がある。学術会議の分野リストは、国立天文台のサイエンスロードマップとしては諸々の修正が必要という印象である。
- ーそれぞれの提案でどのようなサイエンス・ユースケースが有り得るかの分布を見てカテゴライズすることが重要である。提案書を読み、プレゼンを聞きながら委員の見識で臨機応変に修正していくアプローチが良いのではないかと。

「2028-2033 年度までの戦略」をまとめる際の提案の分類の仕方

- ーサイエンスによる分類とプロジェクトによる分類の2案がある。サイエンスによる分類は、各提案を一旦バラバラにして編み直す必要があり非常に手間がかかる。プロジェクトによる分類は提案者が分野ごとに纏めればよく、時間が限られていることを考えると現実的である。
- ーサイエンスロードマップとしてはプロジェクトによる分類がまとめやすい。前提となるサイエンスの流れの文章をしっかりと書けるかが重要であり、そこにどのようなアプローチで臨むか、ある程度の優先度が分かるようにカテゴライズして書くことが望ましい。

2.4 利益相反の考え方について

SRM 提案に利益相反がある委員の取り扱いについて提案があり、意見交換の結果、以下の通り取扱うことを決定した。

- ・利益相反がある委員は、その SRM 提案のヒアリングに SRM 委員としては出席しない。
- ・利益相反がある委員は、その SRM 提案に関する SRM 委員会に出席してよいが、評価に関する議論には出席しない。

2.5 今後の委員会開催日程

次回は 4 月 18 日に開催する旨アナウンスがなされ、5 月の開催について日程調整への協力要請があった。

以上